

平成 30 年度 今宿西地域ケアプラザ事業実績評価

平成 30 年度の評価	
全事業共通	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・利用者満足度の向上に繋げるために、職員一人一人の「接遇力向上」を目指して施設独自のマニュアルを作成して取り組むなど、施設一体となって日々の業務の中で改善意識を持って取り組むことができます。 ・職員一人一人が目標をしっかりと意識した上で効率的に取り組めるように、PDCA サイクルに基づいた「個人目標管理制度」を導入するなど、組織としてマネジメントしながら職員育成を行っている点が評価できます。
地域活動交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・区内の他地域ケアプラザや、市域の事例検討会での他区地域ケアプラザとのつながりを活かして、課題や情報の共有から発展し、より内容の充実した事業を共催するなど、幅広い連携のもと柔軟な事業実施ができています。 ・中学生ボランティアが主体となって活動する地域サロン「かたびら珈琲」の立ち上げにあたっては、場所の選定、日程調整などにおいて細かいサポートを行う役割を担いました。今後も活動の継続に向けた支援を行うとともに、活動についての地域への効果的な発信を期待しています。 ・ケアプラザ利用者を増やすための取組として、これまでの広報紙の作成・配布だけではなく、ブログを活用するなど積極的な情報の発信を行っています。情報収集手段が多岐にわたる昨今において、今後も創意工夫を凝らしてより多くの人に行き届く広報を期待しています。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・地域課題の把握に努め、住民との課題の共有に力を入れました。また、新たに生活支援体制整備事業に特化した広報紙を作成する等、地域の様々な取組をわかりやすく紹介しました。今後さらに、住民主体のさまざまな活動の周知に御協力するとともに、担い手の方々をつなぐ等して、活動支援を図られることを期待しています。
地域包括支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・緊急対応の必要なケースが多くありましたが、職員間で協力し、安否確認や関係機関への連絡・調整等を適切に行っていました。 ・高齢者虐待のケースについて、ケアマネジャーに積極的に働きかけてカンファレンスを開催し、関係者で情報を共有することができていました。 ・初期集中支援チームを積極的に活用し、対応が困難になっているケースの支援やフォローアップを丁寧に行っていました。今後も各職種の専門性を生かし、協力しながらケースの支援をされることを期待しています。
<p>< 評価 (S/A/Bの3段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	